

## 宇都宮市立瑞穂野北小学校 第5学年 児童質問紙調査

### ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

〈家庭での学習〉

○「家で学校の授業の復習をしている」「テストで間違えた問題を勉強している」「自分で考えた勉強をしている」に解答している児童の割合は高く、学習内容に課題をもって取り組んでいくことが分かる。今後も引き続き、進んで取り組んでいけるように指導や声かけをしていく。

●土曜日や日曜日など学校が休みの日に、勉強をする時間が1時間より少ないと回答している児童の割合が多い。学習時間の確保や自主学習の方法等を児童に合わせたアドバイスをしていく。

〈読書〉

○「1か月に何冊ぐらい本を読みますか」についての質問では、11冊以上読むと回答している児童の割合が市よりも多い。今後も図書館業務職員と連携し、本の紹介や読み聞かせ等児童の興味関心を高めるようにしていく。

〈社会のこと〉

●「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」に「はい」と回答している児童の割合は高いが、新聞を読んでいるかの質問に対してはほとんどまたは全く読まないに回答している児童の割合が高い。新聞だけでなく子ども用新聞などを身近におき、児童がいつでも手に取って見られるような場の設定をしていく。

〈教科や学習のこと〉

●国語の学習は将来のために大切だと思うかについての質問で、「いいえ」と回答している児童がいる。どの学習も大切であるという認識がもてるように、指導・支援を行うように努めていく。

## 宇都宮市立瑞穂野北小学校（第4・5学年共通） 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・家庭学習の習慣化を図る。	・発達の段階に合わせた家庭学習の手引きを作成、配付し、家庭と協力して自分で考えて学ぶことを全校で推進している。	・4年生、5年生とも、学習に対して興味・関心が高く、前向きに取り組んでいるが、休日の家庭学習の時間は目安の時間に達していない児童の割合が高い。これからも、意欲が続くような働きかけをしていきたい。
・活動のめあての明確化と振り返りの充実	・「何ができるようになるか」を明確にして授業の構想を立て、児童が見通しをもって学習に取り組めるように実践化を図るとともに、学びを実感できるような振り返りをを行っている。	・「授業では、授業の目標(めあて・ねらい)が示されている」の肯定的回答は、4年生は85.7%で県の平均を0.5ポイント下回っている。5年生では91.3%で県の平均とほぼ一緒であった。「授業の最後に学習したことを振り返る活動をよく行っている」の肯定的回答は、4年生で92.9%で県の平均を18.6ポイント上回り、5年生は82.6%で3.1ポイント上回っていた。